

2026年9月号
信頼を礎に、新しい政治を。

Next ARAKAWA 自民党プレス

どんな事も私たちにお気軽に
相談してください。

自民党荒川区議会

自民党 Lib Dems
Liberal Democratic Party of JAPAN

03-3802-4625

〒116-8501 荒川区荒川二丁目2番3号 5階 自民党控室



荒川自民党LINE



北城さだはる



もぎ弘



鎌田みちてる



西川こうへい



斎藤やすのり



明戸まゆみ



夏目亜季



若林ゆき



なみき一元



すがや元昭



どばしけいこ



能登の復興現場に学ぶ

長沢こうすけ衆議院議員とともに、石川県の能登空港、輪島朝市、和倉温泉等を訪問し、復旧・復興の状況を視察しました。能登空港では、のと里山ポケモン・ウィズ・ユース空港として、官民連携による誘客促進と復興支援の重要性を確認しました。また、山間部の道路復旧現場では、無人重機の遠隔操作技術を視察し、作業員の安全確保と復旧作業の推進における先端技術の役割を学びました。輪島や和倉温泉では、生活基盤の再建と地域経済・観光の再生に向け、継続的な支援の必要性を認識しました。今回の視察で得た知見を荒川区の防災対策に生かし、事前の備えから被災後の生活再建、地域の復興までを見据え、区民の皆様の命と暮らしを守ってまいります。



滝口区長に防災対策の強化を要望

自民党荒川区議団は、本会議終了後、滝口学区長に対し、「熊本地震・千葉豪雨を受けての防災対策強化」に関する要望書を提出しました。地震や豪雨による被害を最小限に抑えるためには、全国各地の災害から得られた教訓を検証し、荒川区の地域特性



に応じた対策に反映することが重要です。今回、アンダーパス対策を改めて確認し、区長と今後の防災対策について意見交換を行いました。災害はいつ起こるかわかりません。日頃から備えを点検し、改善を重ねることが大切です。施設や道路の安全確保に加え、迅速で分かりやすい情報発信や避難体制の充実、危険を予測した事前対応を強化し、ハード・ソフト両面から進める必要があります。引き続き、地域の声を区政に届け、災害に強いまちづくりを推進してまいります。

令和8年9月会議で一般質問行いました

学校給食の充実、火葬料の負担軽減、公園整備、災害対策について質問

学校給食については、おいしさや栄養面の充実に加え、成長段階に合った食器の見直しなど、子どもたちが十分に食べられる環境整備を求めました。火葬場問題では、火葬料の負担軽減に向け、区内への新設を前提とせず、複数区による公営斎場の共同設置などを特別区長会で検討するよう求めました。公園整備では、南千住浄水場跡地で少年野球とグラウンドゴルフの活動場所を確保し、多世代が共存できる運用を提案。あわせて、各地域の公園へのミスト設備の導入やベンチ周辺の日陰対策を求めました。災害対策では、ドローンや河川を活用した救援物資の搬送、インスタントハウスの活用研究を提案。さらに、気象情報と避難指示の違いの周知、避難場所の開設時期や開設状況の分かりやすい情報発信など、区民の命を守る実効性ある対応を求めました。



すがや元昭議員

学校の暑さ対策、障がい者の防災支援、成年後見制度、南千住駅周辺のまちづくりについて質問



若林ゆき議員

教育環境では、プールの日よけやWBGT測定、シャワー環境の改善などの暑さ対策と、建替えを待つ既存校舎の修繕を求めました。地域防災では、荒川防災リーダーや中学校防災部で、視覚・聴覚障がいの特性、声掛け・誘導・筆談などを実践的に学び、災害時に支援できる人材を育成するよう提案しました。成年後見制度では、法改正を見据えて現場の課題を把握・共有し、専門職や社会福祉協議会、福祉関係機関が連携して、相談から申立て、支援、報酬助成まで切れ目なくつなぐ体制づくりを要望しました。TX延伸を契機に、南千住駅のJR・東京メトロ・TXの3路線を一体に捉え、新改札口の整備や中道区道の歩きやすい空間づくりを進め、安全性・利便性・にぎわいを高めるまちづくりを求めました。

シティプロモーション、緊急避妊薬の地域連携、SNS時代におけるリテラシーについて質問

シティプロモーションでは、発信対象の明確化や愛着・行動の変化を測る成果指標を提案。区は20～30代に焦点を当てた発信と、基本方針への評価指標の位置付けを進めると答弁しました。緊急避妊薬では、薬局と医療・福祉・警察等の地域連携や初期対応手引きの整備を要望。区は研修で支援機関の情報を提供し、緊急時に関係機関と薬剤師が連携する方針を示しました。警察へはワンストップ支援センターを通じてつなぎ、多様な相談先をまとめたリーフレットも作成準備中と答弁しました。また、誤情報への対応と科学的根拠を確かめる力の育成を求め、区はホームページにヘルスリテラシーの情報を追加し、HPVワクチンの案内デザインを見直すほか、検定や動画配信も検討すると答弁しました。



夏目亜季議員